

森のおくりもの4月



ビロードツリアブ（ツリアブ科）



この頃ようやく春らしくなってきました。自然観察の森では、新年度を迎えるにあたって人事異動がございました。この森で3年勤務した阿部と、2年勤務した遠藤が仙台市公園緑地協会で運営している他の施設に移ることになりました。代わりに青葉の森から来る新田と、新規採用の木田が着任しました。新体制になりましたが、職員一同で力を合わせて頑張ってまいりますのでこれからもよろしく願いいたします。

【写真・文 早坂 徹】

# 顔の形がおもしろい テングチョウ

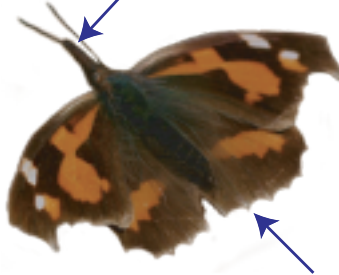


花が次々と咲くこの季節、花に誘われて虫たちもやってきます。その中に色合いが似ていて同じように見える**チョウ**と**ガ**がいるのはご存知でしょうか。

天狗のように鼻が長く見える「**テングチョウ**」とチョウのように翅を閉じてとまる「**イカリモンガ**」。どちらも、成虫で越冬し、茶色い地にオレンジ色の紋が付いています。

## 何がちがうかな？

■触角の内側の突起（パルピ（下唇髭））が天狗の鼻みに長く伸びているよ。



テングチョウ

【前翅長：約 20-30mm】

この森では春に成虫（越冬したもの）が見られ、卵を産み6月頃に新成虫が現れます。夏は休眠する為、目につかなくなりますが、秋にまた活動し、寒くなるとどこかで越冬します。

■冷えた体を温める為、できるだけたくさんの光があたるように、翅を広げて止まり日向ぼっこをするよ。

テングチョウの幼虫はエノキの葉を食べます。体が葉の色と一体化していて、よく見ないと気が付かないよ。



■黄色い線が葉脈にも見えて・・・



イカリモンガ

【前翅長：約 20mm】

■前翅のオレンジの模様が船のイカリの形に似ているよ



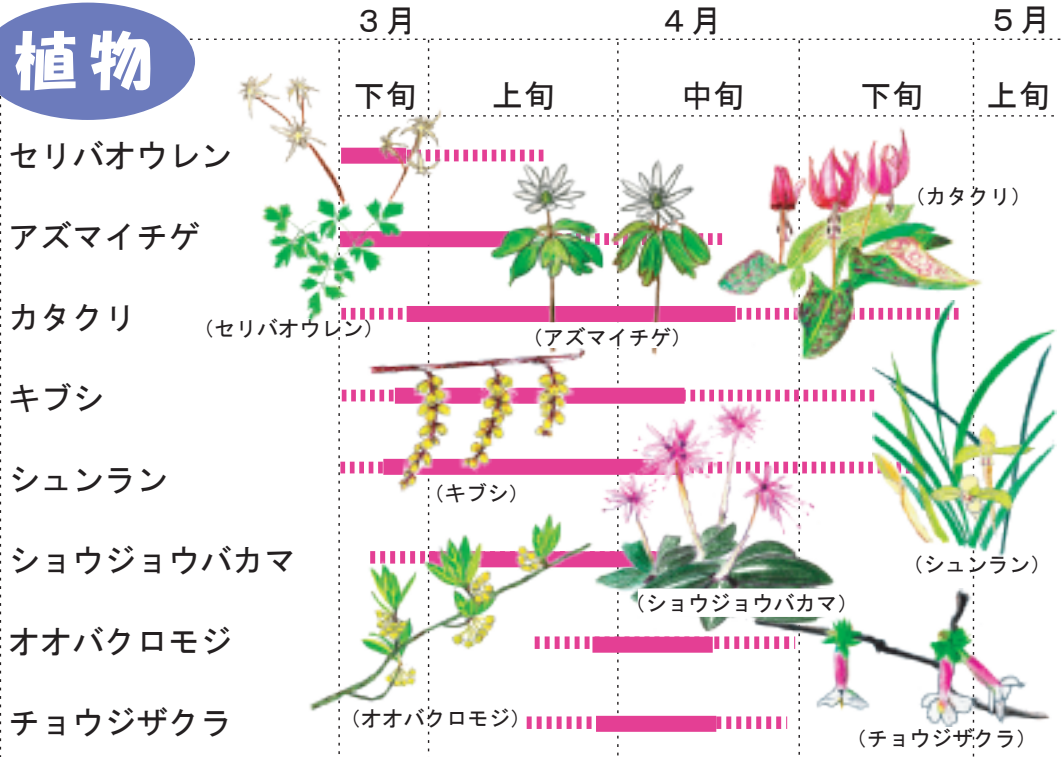
- ・翅を閉じてとまる
- ・昼間活動する
- ・触角が細い

↑  
チョウと同じような特徴もっているの、「このチョウは何ですか？」と聞かれることがあります。実はガの間。幼虫はイノデなどを食べます。

【レンジャー：黒川周子】

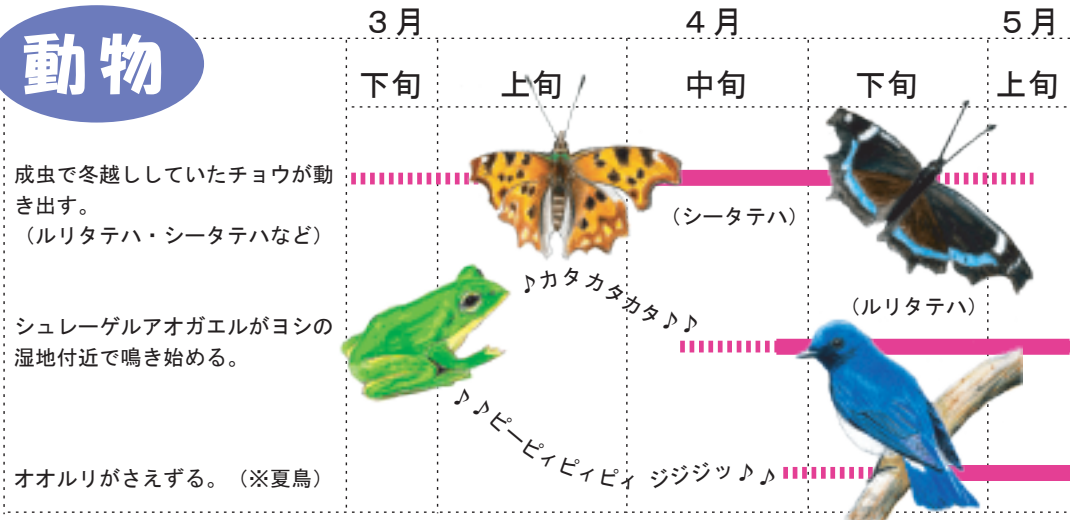
# 4月の生物ごよみ

## 植物



今年では昨年と比べ、スギ花粉の飛散量が非常に多いとのこと。センター周辺でも3月中旬には一気に飛びはじめ、車のフロントガラスが黄色い粉で覆われました。私も花粉症のため咳、鼻水などかなりきついです。そんな中、カタクリは3月20日に蝶の野原で咲きはじめました。昨年より3日ほど早い開花になります。見頃は4月初旬から中旬にかけてになります。

## 動物



【レンジャー：齋 正宏】

※夏鳥 春に東南アジアなどの越冬地から日本に渡ってきて繁殖し、秋には帰っていく鳥。日本にいる期間は種類によって違うが、おもに3月～10月の間になる。



# レンジャーの森の雑記帳



柔らかな春の日差しが芝生広場を包み、まるで黄緑色の絨毯じゅうたんのようなふかふかな地面に長い影を落とします。誰もいないはずの静かな朝の芝生広場に一瞬、子どもたちの笑い声や楽しそうな呼び声が聞こえてきそうなそんな気がしました。春という季節は漠然とした幸せが膨らむようなそんな気分させてくれる不思議な季節でもあります。カタクリが咲くのを待ちわびている複数の来園者の方から、見頃はいつ？と尋ねられるときもあり、毎年咲くのを心待ちにしているのだろうかあと受け答えをしています。観察センターの専用駐車場には大きなヤマザクラが淡い何とも言えないピンク色の花を咲いて見せてくれます。もし来園されましたらゆっくりと4月の青い空と桜を眺めてもらえたらうれしいです。



## ごあいさつ

2015年の4月に太白山観察センターに赴任して参りましたが、この都度4月1日より青葉の森に異動することになりました。来園された多くのお客様と知り合い、お話しをできたことが私の中でとても大切な記憶となっており深く感謝しています。自然という場所が人と人を繋ぎ膨らんでいく、そんな感覚をこれからも大事にしていこうと思っています。皆様が太白山の自然をこれからも楽しんでいただけたらとても幸いに思います。

【レンジャー：阿部正明】

季節を感じて楽しむ

## 森の七十二候

第13回  
最終回



チョウジザクラ



ヤマザクラ



ウワミズザクラ



カスミザクラ

4月はなんといってもサクラの季節。今年のサクラ（ソメイヨシノ）前線は、3月の暖かさのせいで平年よりも早めに北上しているようです。仙台の開花予想は4月2日。満開は開花からおよそ1週間後、お花見の計画も立てられそうですね。

こんなにサクラにワクワクするのは、日本人のDNAゆえ。日本人は古よりサクラを愛し、サクラとともに暮らしてきました。

最近では海外からの観光客にも「お花見」は大人気らしく、世界中に日本の「お花見」文化が広がることを期待しようと思います。

# 桜始開

さくら始開

3月25日から  
29日ごろ

観察の森のサクラの1番手は**チョウジザクラ**。3月末から4月上旬に開花します。葉っぱがベロア（※）のようにふわふわでおすすめです。ぜひ触ってみてください。次に咲くのが**カスミザク**に**ヤマザクラ**。4月中旬ぐらいに咲きます。どちらも白くて「ザ・日本の野生サクラ」という感じです。4月の下旬から咲き始めるのが**ウワミズザクラ**です。小さい花が多数ついて、棒状のブラシのように見えます。果実は杏仁豆腐のようなおいがするの  
で、花後も楽しめます。

【レンジャー：遠藤和子】

### 【異動のごあいさつ】

この度海岸公園センターハウスに異動になりました。2年間という短い期間でしたが、大変お世話になりました。夢だったレンジャーになれて、そしてここで出会えた皆さんのおかげで、とても楽しく充実した2年間を過ごすことができました。新しい部署での仕事は、被災した海岸地域の復興に向けた育樹プロジェクトになります。今度赴任するセンターハウスからも太白山が見えました。毎日太白山を眺めながら、観察の森での経験を糧に、緑の再生に精一杯頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。

※ベロア：毛足の長いピロードに似た織物。柔らかく肌触りがよい。



# 4月のイベント & お知らせ

## ◆おはよう野鳥かんさつ

・春の森を歩き、講師の案内で野鳥の声と姿を探します。

【日 時】4月14日(土)  
午前6時半～8時

【持ち物】歩きやすい服装、  
観察用具(双眼鏡の貸出あり)

※参加申込み不要です。



## ◆館長と森を歩こう

・観察の森の館長が春の森を案内します。

【日 時】4月29日(日)  
午前10時～11時半

【持ち物】歩きやすい服装  
※参加申込み不要です。



## ◆太白山の春をたずねて

・若葉が美しい季節に講師による自然解説を交えながら、太白山の頂を目指します。

【日 時】4月28日(土)  
午前10時～午後3時

【定員】20名(先着)  
【持ち物】歩きやすい服装と靴、  
雨具、昼食、飲み物

【申込み】4月6日(金)  
午前9時から電話で



## ◆ゴールデンウィーク 特別ガイドウォーク

・新緑の雑木林をレンジャーが案内します。

【日 時】5月3日(木祝) 4日(金祝)  
5日(土祝)

午前10時～11時半  
【持ち物】歩きやすい服装、  
飲み物、  
雨天時カッパ

※参加申し込み不要です。



毎週

日曜日 『ガイドウォーク』の日!

4月のテーマは「春の妖精たち」

1日、8日、15日、22日、29日です。

開催時間: 午前 10:00～11:30  
: 午後 1:30～15:00

## 森のちいさなアトリエ

準備してある材料を使って、誰でも自由にクラフトが作れます。



4・5月は  
ちぎり絵ローズウィンドウ



ヤマツツジの丘からヨシの湿地へ通じる橋が老朽化のため、しばらくの間通行止めになります。

## 4月の休館日

2日、9日、16日、  
23日

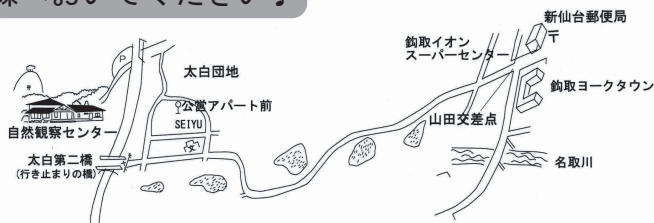
♪森へおいでください♪

### 宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 7番のりば 乗車時間 約40分
  - ② 長町駅東口 3番のりば 乗車時間 約30分
  - ③ 八木山動物公園駅 6番のりば 乗車時間 約10分
- 【行先】①②③ 「太白団地経由山田自由ヶ丘庫車行」乗車  
(※③のみ乗車可「太白団地 山田自由ヶ丘経由仙台南ニュータウン行」)  
いずれも宮営アパート前 下車→徒歩15分

### お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。  
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



自然観察の森の最新情報、「森のおくりもの」  
バックナンバーはWebでチェック!

2018年4月号(毎月1回5日発行)

発行:(公財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター  
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail: taihakusan\_moushikomi@sendai-green-association.jp

「杜のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>